

## 第24回 現代世界の系統地理的考察

## ■■ 生活文化、民族・宗教編 ■■

## 世界の違いと共通に目を向けてみよう (1)

～衣食住、民族、宗教～

監修・講師

内藤正典

## 学習のねらい

世界の人びとの生活は多様である。食文化、言語、宗教のどれをとっても世界にはさまざまな違いがある。地域による多様性を知ることは地理の学習にとって重要な一歩となる。そのときに大切なのは「どの文化がすぐれているか」という優劣を基準にしないことである。どのような違いがあるのかを学ぶことによって、世界の文化の豊かさを学ぼう。

## 今回のポイント

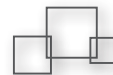
- 食べものの地理
- ことばの多様性
- 宗教の違いと共に生きること

## ■■■ 食べものの地理 ■■■

食文化の違いは、基本的には自然条件による。作物にしても、家畜にしても、生育に適した自然環境を知ることが大切。そのうえで、宗教も食文化に大きな影響を与えていることを知ることが必要である。例えば、イスラームでは豚肉や豚由来の成分を禁じている。ここで大事なのは「どうして？」と理由を問わないこと。宗教には長い歴史がある場合が多く、「なぜ？」と問われても答えられないこともしばしばある。食べない理由を知ることが大切なのではなく、その食文化を持っている人びとが何を大事にしているかを知ることが大切なのである。

## ■■■ ことばの多様性 ■■■

世界には多くの言語があるが、大きくいくつかのグループに分類することができる。日本語は孤立したことばだと言われることが多い。主語と動詞の順番をみると、日本語は主語が最初に来て、動詞が最後に来る。一方、英語は日本語と違って、主語の次に動詞が来る。しかし、世界には、日本語と同じように、主語が最初に来て動詞が最後にくることばがある。たとえばアジアの最も西に位置するトルコのことばは、日本語と似ていて、主語、目的語、動詞の順番になり、目的語には日本語と似て「て、に、を、は」がつく。ことばの多様性と類似性を知ることが、世界の人びとの文化を学ぶときに重要である。



■■ 宗教の違いと共に生きること ■■

世界には、さまざまな宗教がある。そのなかで、神が唯一だと考えるのが一神教で、ユダヤ教、キリスト教、イスラームの順に誕生した。一方、信仰の対象となる神が複数いる場合には多神教という。宗教も、食文化や言語と同じように、どちらが優れているかを議論すると争いになりやすい。誰でも、自分の信じている宗教が一番だと考えるからである。宗教を理由にした対立は、激しい紛争に発展しやすいのもそのためである。



Blank lined area for writing notes.